第 80 号　平成 30 年 5 月 10 日発行

小川ひなた荘だより

この勝負、どちらが勝つか？

なんと年の差 21 歳の二人、毎回いい勝負です！
新緑にそよぐこいのぼりも窓から観戦でしょうか？

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

～笑顔がある生活を目指して～

桜満開

小川ひなた荘は桜の名所
今年は 3/23 と早めに開花し、その後の暖かさであっという間に満開になりました。桜の前では皆さんこの笑顔です！

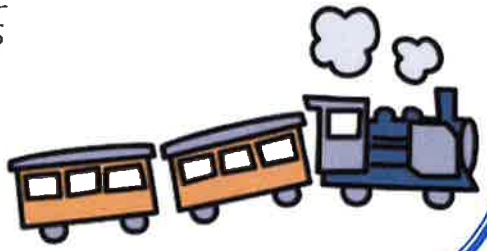
埼玉伝統工芸会館へお出かけ

４月 11 日に小川町にある埼玉伝統工芸会館に出かけました。
玄関には『つるし雛』、紙すきの様子の見学や紙ねんどで作った花々を見て「これが作り物の花なの？本物の花みたい」とびっくり！帰りは新緑を楽しみながらのドライブ、春を満喫しました。

小さなお話

これはご利用者の方からお聞きした
お話を元にしたフィクションです

ああ、ここからも電車が見えますねぇ…
電車？いや、あのころは汽車でしたね。
今で言うとＳＬっていうのかな？
『シュッポ、シュッポ』ってけむりを出して
町のほうから走ってくるのが見えると
「あれに乗って行けば実家に帰れる」って
何度思ったことか…
山の陰に汽車が見えなくなるまでじっと
見ていたもんですよ。そう、泣いていたかって？
そうかもしれませんねぇ…あのころは結婚なんて親が決めた人とするものだと思っていたから、父親に「嫁入り先が決まったぞ。埼玉だけど、汽車なら半日あればゆっくり着くし、そんなに遠くも無いだろう。」って言われて。そんなもんだと思っていましたよ。
でも、やっぱり嫁に来れば実家に居たときとは大違い！
朝は一番早く起きてご飯の支度。うちは紙問屋だったから住み込みの使用人もいるし、全部で十人分くらいのご飯を炊いてね。
もちろん電気釜なんて無い時代だから、かまどで炊くんですよ。
その後も洗濯や掃除、またご飯の仕度、毎日目の回る忙しさ！
そんな時に、上の姉さんから「あんたはちっとも返事をしない」と怒られたことは、今でも忘れないですねぇ。
「なんでこんな所にお嫁に来ちゃったんだろう」って…
あの汽車を見たとき背中におぶっていた子供も、今ではもう五十を過ぎて、親に説教するような歳になりましたよ。
もう遠い遠い出来事になったんですかねぇ…



おしゃべりクラブ

～優雅に泳ぐ鯉のぼり～

♪いらかの波と雲の波　重なる波の中空を～
♪柱の傷はおととしの　五月五日の背くらべ～
端午の節句には馴染みの歌を唄っていると…

Ａ様「最近は鯉のぼりを揚げる家が少なくなったみたいだねぇ」
Ｂ様「昔は鯉が揚がっている家を見ると『あそこの家は男の子が生まれたんだ』って目印になって初節句のお祝いを持って行ったりしたもんだけど…」
Ｃ様「うちじゃあ女の子ばかりだったから鯉のぼりには縁がなかったよ。この時期にはちょっと寂しいよね。」
職員「我が家では初めての子を妊娠したとき『男の子』ってわかったとたん、おじいちゃんが大喜びで、まだ子供が生まれてもいないのに鯉のぼりの竿を準備してくれたんですよ。」
Ａ様「じゃあ、よっぽど嬉しかったんだろうね。」
職員「ありがたいことです。」
Ｄ様「鯉のぼりを立てている時は、雨が降るとあわててしまうのが大変だったね。
大事な鯉を濡らしちゃ行けないと大慌て！」
Ｂ様「鯉のぼりは家の宝、ずっと大切にしなくちゃね。」

今では鯉のぼりを揚げる家が少なくなり、寂しさも感じますが、優雅に青空を泳ぐ鯉のぼりを見ると、どこか懐かしく嬉しい気持ちになります。
『端午の節句には柏餅を食べ、菖蒲湯に入って子供の成長を願う』古き良き日本の文化を大切にしたいですね。

短期入所生活介護事業所の廃止について

平成30年3月末日をもちまして、特別養護老人ホーム小川ひなた荘に併設していました短期生活介護事業（ショートステイ）を廃止し、特別養護老人ホームのベッドに転換いたしました。このことにより入所ベッドが50床から55床に変更になりましたのでご報告いたします。
なお、特別養護老人ホームのベッドが空いているときにご利用いただける『空床型短期入所生活介護』については継続させて頂きますので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

新規職員の紹介

～どうぞよろしくお願いいたします～

介護職員
岡野麻衣子

看護師
森田広子

洗濯業務
大串町子

宿直者
嶌田幹生

宿直者
田島勝次

宿直者
町田雄二

食中毒に注意！

梅雨が近づいてきました。
これからの季節は食中毒に注意が必要です。
面会時の食べ物の持ち込みは原則禁止となっていますが、ご家族との面会時に一緒に召し上がる等の理由で、持ち込みを希望される場合は、必ず職員にお声がけ下さい。

編集後記

季節の花言葉　「つつじ」

今年の冬は異例の寒さと言われましたが、三月に入り暖かい日が続いたせいか、いつもより早く桜が開花しました。ひなた荘の裏山の“山つつじ”の花も五月になり、咲き始めました。毎年きれいに花を咲かせてくれる“山つつじ”の花言葉は「節度」「慎み」です。
近隣には五大尊つつじ公園(越生)、岩根山つつじ公園(長瀞) 等、つつじの名所もあります。

発行元　日本赤十字社埼玉県支部特別養護老人ホーム小川ひなた荘　埼玉県比企郡小川町小川1548-1
TEL 0493-74-2191 FAX 0493-74-5948　URL　http://www.hinataso.jrc.or.jp/